

令和8年8月26日

令和8年度「まちのデータ研究室」における成果発表会を開催

香川大学は、情報通信交流館（e-とぴあ・かがわ）、日本電気株式会社、高松市、スマートシティかまつ推進協議会などと連携し、行政、企業、大学生、高校生など地域の多様な主体が、まちのデータを活用して地域課題の解決に取り組む「まちのデータ研究室」を運営しています。

今年度は、授業変更の連絡、学校への改善要望、熱中症の予防、メール業務、飲食店の受付、観光案内、学生の暮らし、社内規則の確認を対象としたシステムの開発に8つのチームが取り組み、この度、今年度の成果発表会を開催いたします。報道機関におかれましては成果発表会にお越しいただき、開発したシステム取材いただきたく、お願い申し上げます。

■ 令和8年度まちのデータ研究室 成果発表会〈第4回〉

行政、企業、NPO法人、大学生、高専生、高校生など地域の多様な主体がチームを形成し、社会課題を解決するシステム開発に取り組みました。成果発表会では、デモセッションにおいて実際に動作するシステムを体験していただけます。

※令和8年度まちのデータ研究室は、成果発表会を含めて全4回開催しています（別添資料参照）

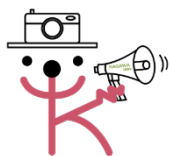
○日 時：令和8年8月30日（日）13:00～16:00

○場 所：情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ BB スクエア

（香川県高松市サンポート2番1号 高松シンボルタワー タワー棟5階）

○チーム&システム名：

- ・チーム三豊のまち工場A（香川高専）：授業変更可視化システム
- ・チーム三豊のまち工場B（香川高専）：学校改善要望管理システム
- ・チームおすおす（坂出商業高校）：熱中症防止システム
- ・チーム坂出商業B（坂出商業高校）：受信メールダッシュボード
- ・チーム志度ドラゴンズ（志度高校）：飲食店によくある受付システム
- ・チーム高松市内高校：穴場観光スポット提案AI エージェント
- ・チーム社会人連合：学生暮らしサポート AI コンシェルジュ
- ・チーム四国ドック：どっくたー（社内規則確認 AI エージェント）



取材申込はこちらから↓



お問い合わせ先

香川大学情報化推進統合拠点 DX 推進研究センター 教授 米谷雄介

TEL：080-3438-5749

E-mail：kometani.yusuke@kagawa-u.ac.jp

※上記不在の場合

情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ 樋川

TEL：087-822-0111（代表電話）

E-mail：n-hikawa@kkjs.e-topia-kagawa.jp

※メール送信の際は@を半角にしてください。



日常の中に課題を見つけ、データを用いて解決してみよう

本プログラムでは、健康・医療・介護、教育、こども、防災、モビリティ、農業・水産業・食関連産業、港湾、インフラなど、準公共分野と呼ばれる行政・地域分野を対象にします。日常の中にある課題を見つけ出し、データを用いてその課題を分析・解決する手法を、実践を通して学びます。

本プログラムの学習目標

- 1 課題解決に必要なデータを、効率的かつ正しく収集するシステム(アプリ・ソフトウェア)を設計・開発できる
- 2 システムによって収集したデータを分析し、状況を俯瞰的に捉えて課題に対する洞察を得られる
- 3 データおよび分析結果を利活用し、課題解決につながる具体的な方策を提案・実装できる

プログラム内容

- ▶ **内製開発ハンズオン**: ローコード・ノーコードツールを用いたデータ分析/システム内製開発のハンズオンプログラム「KadaiDX塾ハンズオン」を通じて、自分たちが開発してみたいシステムの着想を得ます。
- ▶ **課題解決アイデアソン**: デザイン思考に基づいて課題を発見し、アイデアを創出します。これにより、身近な課題を解決するシステムやデータ利活用の方策を明らかにします。
- ▶ **プロトタイプ開発**: チームで取り組み、フィールドワークを通じて効果を検証します。
- ▶ **成果発表会**: 実際に動くシステムのデモを行い、システムの社会実装について話し合います。

スケジュール

※詳細スケジュールおよびカリキュラムは裏面をご覧ください。

- 7月5日(日) **第1回 KadaiDX塾ハンズオン【初級編】**
ローコード・ノーコードツールを用いたデータ分析/システム内製開発の基礎知識・スキルを学びます。
- 7月18日(土) **第2回 KadaiDX塾ハンズオン【AIエージェント編】**
ローコード・ノーコードツールを用いてAIエージェントを開発・活用する実践的な演習を行います。業務データや文書、ルールなどをナレッジとして与え、課題整理や判断を支援するAIエージェントを構築することで、データを活かしたより高度なシステム開発・課題解決の手法を学びます。
- 7月25日(土) **第3回 課題解決アイデアソン**
デザイン思考に基づいて、日常の中に課題を見つけ、課題を解決するアイデアを考えます。
- 8月30日(日) **第4回 成果発表会**
研究成果を全体に共有します。チームによるショットガンプレゼンテーションとシステムデモ展示を予定しています。

時間	第1回	第2回	①10:30~11:00 講演/②11:00~12:30/13:30~15:00 演習/ ③15:00~15:20 事例紹介
	第3回	①10:30~12:30 課題発見・アイデア創出/ ②13:30~15:00 アイデア評価・チーム形成/③15:00~16:00 チーム活動計画	第4回
			13:30~16:00 成果発表会

講師/アシスタント

【ハンズオン講師】香川大学情報化推進統合拠点 DX推進研究センター DXラボ 学生スタッフ・教職員



DXラボ 学生スタッフ
谷崎 勇太
大学院
創発科学研究科
情報社会ユニット



DXラボ 学生スタッフ
吉岡 里穂
大学院
創発科学研究科
情報システム・
セキュリティユニット



DXラボ 学生スタッフ
鳥井 亮秀
大学院
創発科学研究科
情報社会ユニット



DX推進研究センター
教授
浅木森 浩樹
(ソフトウェア
エンジニアリング)



DX推進研究センター
教授
米谷 雄介
(ナレッジマネジメント
システム)

【リサーチ・アシスタント】DXラボ 学生スタッフ(香川大学創造工学部情報システム・セキュリティコース 4年生)

Q ローコード・ノーコードツールとは?

コンピュータ・プログラミングの代わりに、グラフィカル・ユーザー・インターフェースと設定を通じてアプリケーション・ソフトウェアを作成できる技術のこと。

申込方法や詳細は裏面へ

情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ

〒760-0019 香川県高松市サンポート2番1号 高松シンボルタワー タワー棟4・5階
TEL:087-822-0111 FAX:087-822-0112 <https://www.e-topia-kagawa.jp>

【開館時間】火曜日～金曜日 10:00～21:30、土曜日・日曜日・祝日 10:00～18:00

【休館日】毎週月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合は、翌日に最も近い祝日・休日でない日)、年末年始(12月29日～1月3日)
SNSで情報発信中! (Facebook・X・YouTube・Instagram)「e-とぴあ・かがわ」で検索

情報通信交流館 web検索

ご来館は、公共交通機関をご利用ください。

～データで「身近な困りごと」に挑戦してみよう～

「まちのデータ研究室」は、高校生・大学生・社会人がチームとなり、地域や日常の中にある課題をデータで解決する実践型プログラムです。プログラミング経験は不要で、パソコン操作を中心に、課題発見からデータ収集、試作、発表までを体験します。

総合的な探究の時間や情報科の学びとつながり、正解のない問いに向き合う力や協働する力を育みます。香川大学教員・学生スタッフが支援するため、初めてでも安心して参加できます。

対象ユーザー

身の回りにある課題の解決に役立つデータ活用手法を学ぶことができます。

一般市民

- ・地域課題の当事者
- ・高校生、学生、地域のビジネス企業、NPOなど
- ・デジタル技術やデータの活用に関心がある方

日常の中に課題を見つけ、データを用いて解決する

行政職員

- ・データ管理が得意
- ・データを効率的に収集し、活用する技術を高めたい方
- ・データを活用可能な現場の課題について理解を深めたい方

デジタル人材

- ・IT技術を提供
- ・IT技術が適用可能な課題を知りたい方
- ・活用できるデータの理解を深めたい方

地域のステークホルダーや行政職員と関係性を構築しながら、貢献できる課題やIT技術のニーズを獲得できます。

一般市民やデジタル人材と協力して地域の共通課題を発見し、課題解決に有用なデータを特定できます。

開講スケジュール／カリキュラム

#	開講日	トピック	活動内容
1	7/5 (日)	KadaiDX 塾 ハンズオン 【初級編】	「イベント参加受付システムを開発しよう」 「イベント参加受付状況を可視化しよう」 参考となるシステム 「欠席届申請システム」
2	7/18 (土)	KadaiDX 塾 ハンズオン 【AIエージェント編】	「休暇申請受付・確認 AI エージェントを開発しよう」 参考となるシステム 「出張申請エージェント」 「物品購入依頼作成 AI エージェント」
3	7/25 (土)	・課題解決アイデアソン ・チームビルディング	アイデアワークを通じて、日常の中に課題を見つけ、アイデア創出をおこないます。高校生、大学生、企業（ビジネス系・IT系）、自治体、NPO など多様な参加者でチームを組み、チームで取り組む対象分野と課題を設定します。
-	7/26 (日) ～ 8/29 (土)	・プレスリリース作成 ・プロトタイプ開発 ・デモ動画作成 ・ポスター作成	【チームでプロトタイプ開発】 フォーマットに基づき、システムのコンセプトを説明するプレスリリースを作成した後、コンセプトに基づくプロトタイプを開発します。遠隔コミュニケーションツールを利用して、チームで意見交換しながら開発を進めます。 開発したシステムを対象分野の関係者に試用してもらい、ねらいとする効果が出ているかを検証し、さらなるブラッシュアップに取り組みます。 ▶ 講師／アシスタントがトラブル解決をサポートするので、安心して取り組むことができます。
4	8/30 (日)	研究成果発表会	・プレスリリース、システムデモ動画のショートプレゼンの後、ポスター発表をおこないます。 ・参加者にプロトタイプを体験してもらうとともに検証結果を共有します。 ・システムの社会実装に向けた改善点について議論します。

対象・定員

対象 | 高校生以上

※18才以下は保護者の同意が必要です。

定員 | 30名（高校生・大学生15名、社会人15名）

※先着順受付

受講料

無料

参加条件

- ・デジタル技術を用いて業務を効率化したい方、または地域の魅力を向上させることに興味、関心のある方
- ・原則全日程参加できる方
- ・普段からパソコン、スマートフォンを学習や業務等で利用している方（アプリ・ソフトウェア開発のスキルは不要です）
- ・Wi-Fi にてインターネットに接続可能なノートPCを持参できる方（※OS は Windows 必須、PC 貸与あり）
- ・必須条件ではありませんが、地域貢献に関心があり、地域での活躍の場を探されている IT に詳しい方のご参加を歓迎します。
- ・成果物の取り扱いについてはオープンソースとし、無償で誰もが自由に改良・再配布をできるようにします。

申込方法

情報通信交流館（e-とびあ・かがわ）のホームページよりお申込みください。

HPはコチラ.....▶

申込締切 6月30日（火）

